

## 大坊山～大小山山行報告

【山行日】 2014年 12月 23(火) 晴れ

【集 合】 岩舟支所P AM 7:00

【費 用】 マイカー1台 : 400円

【メンバー】 A : CL:鈴木、 梶内、島田、  
福田、渡辺、香川

B : CL大西、 田村、津佐

【コースタイム】A : 岩舟支所P7:00＝

大山祇神社P7:40/7:55～大坊山8:20～

番屋9:15/9:30～妙義山11:00～大小山11:20～

大の字11:25/11:55～阿夫利神社P12:30＝岩舟支所P13:10

B : 大山祇神社P7:55＝阿夫利神社P8:15～西場百観音8:35～西場富士9:10～妙義山11:00

冬場のトレーニング山行として、大小山へ出かけた。健脚組は、大坊山から越床峠を經由し大小山まで縦走し、のんびり組は西場百観音から西場富士を經由し大小山へのコースとした。



今回も若い男性二人、体験山行として参加した。大山祇神社下の駐車場まで行き、体験山行の二人の紹介と我々の自己紹介後、ストレッチをして出発した。のんびり組は、車で阿夫利神社Pまで移動し歩き始める。

健脚組は、まず大山祇神社にお参りし安全祈願をして大坊山をめざす。

尾根に出ると赤城山や浅間山の眺望が得られるが、寒気の影響でうっすらと霞んで見える。

途中衣服調整し、少し登ると四等三角点がある

大坊山山頂に着く。山頂は広く、神社があり大きな「大坊山」の標識が立っている。休憩して日光連山や富士山の眺望を楽しみ記念写真を撮るここからは岩稜の尾根を下り、長林寺への分岐を右に登ると見晴台に出る。小さなピークだが、眺望がよくベンチがあるので休憩しリンゴをいただく。さらに尾根伝いにアップダウンを繰り返すが、験参加のKさんに登りや下りの歩き方を教えながら進む。

シルバーコースの標識がある分岐は、ピークを直登するゴールドコースを選択し、岩稜を登り山頂に立つ。山頂の西側に採石場があり、山の半分が削られている。ピークから急な下りを降りると、シルバーコースの巻道と合流し直ぐに番屋に着いた。番屋は採石で削られた山腹の見晴が良い場所に小屋を建て、登山者の休憩所として無料で使用させ、トイレも借りることが出来るとてもありがたい場所だ。ゆっくり休憩し、ミカンや菓子を食べてエネルギー



を補給し、小屋の屋上展望台で眺望を楽しんでから出発した。一旦越床峠まで下って直進し登り返



すが、ここから妙義山までは数回アップダウンを繰り返すハードな尾根歩きとなる。

途中岩場の難所を通過する箇所もあり、疲れた体には堪える登りだ。最後の急登を頑張り、予定の時間ピッタリに妙義山に着いた。のんびり組はと探すと、下から元気な声が返ってきた。予定通り妙義山頂で合流しお互いの健闘を称え合う。梨や菓子を食べながら景色を楽しみ、記念写真を撮って大小山へ向かう。岩場の急な下りを慎重に降り、ロープを頼りに崖を登り返すと大

小山山頂に着く。

ここで昼食の予定だったが、風が強いので大の字の東屋まで降りて昼食にする。大の字の東屋は、大小山の南東の崖下にある風がほとんど当たらない。今日の山ごはんは、昨日道の駅「しもつけ」で買ってきた短冊うどんだ。幅3cm長さ10cmの極太うどんを、けんちん汁に入れて煮込み、もちもちしてとても美味しかった。お茶を飲みながら、筑波山や新宿ビル、スカイツリーなどの眺望をゆっくり楽しみ下山する。途中、男坂と女坂の二手に分か降りて行く。仙間神社の先で、



再び合流し、杉林の中の整備された登山道を下ると阿夫利神社駐車場に着いた。体験参加の二人も「とても楽しく歩け、勉強になりました。また一緒に登らせてください。」と笑顔で喜んでいた。靴を履きかえ、体験山行の二人とここで分かれて帰路についた。

